

保命酒使った羊羹など発売

【福山】食品卸の中島商店（広島県福山市、中島良昭社長）は、福山市の特産品、保命酒（ほうめいしゅ）を使った菓子の新製品二品を企画、市内の菓子メーカーや小売店を通じて発売した。福山が収穫量日本一のクワイ入り羊羹（ようかん）と、保命酒の酒かすで包んだ落花生で、福山市の觀光土産品として提案する。

いずれもみりんに十六種類のハーブを漬け込んで造る保命酒の独特の甘みと風味を生かした。「くわい入り保命酒羊羹」はクワイと保命酒を白あんに練り込んだ。うめ入り羊羹、アンズ入り羊羹との三本セットで発売する。価格は千二百六十円。落花生の「保命酒豆」は九十㌘入りで三百十五円。昨年春から保命酒を使った菓子の開発に取り組んでおり、今回で全十一品となる。新製品二品に保命酒入りのたい焼きを加えたセット（一千百円）も同社のホームページを通じて二月に発売する。